

みだら夜話<sup>やわ</sup> 第四回

# どんぶり

あさき まだら  
浅黄斑<sup>あさき まだら</sup>〈作家〉

絵・犬童 徹<sup>いんどう とおる</sup>

どんぶりとは、果たして料理の名なのか、器の名なのか。なぜ井と書くのか。いったいどんな謂われがあるのか。

前回、そんなことを予告してしまったので、今回はそれについて書きましょう。結論を先にいえば、どうやらこれは器の名であるらしい。どんな器であるかは今さら説明する必要もないでしょうが、まずは陶磁器で、ご飯茶碗三倍ほどの分量が入る。そしてここが大切なのだが、蓋がついている。ついてなければ、どんぶりではなく、ただの鉢ですね。つまりはこの井鉢を使った料理が、井物と呼ばれるわけです。

さて、この料理が初めて登場するのは江戸時代も半ばを過ぎてからです。なぜ、そんなことが分かるかという、そのころの文献によくこれが登場してくる。当時は、あまり品のよい料理で

はなかったらしい。

たとえば天明一年というから、二百二十年ほど昔のことですが、ある旗本が料亭の主人を招待して出した献立書きに「南蛮染付どんぶり」と書かれている。これなど、かなり古い記録なので、だいたい我が国にどんぶりが登場したのは、この頃からのようですね。

つい理屈っぽいことを書いたついでに付け加えれば、この頃まで、我が国に「井」などという漢字は使われたことはなかった。ええーっ、と思われるかもしれませんが。でも、もちろん中国にはこの文字があって、テン、とかタンと読まれていた。漢字というのは表意文字ですよ。つまりこの文字は、井戸の中に小石を投げ入れた状態——これを、日本語として表現すれば、「ぼちゃん」とか「どんぶり」と読めるわけです。つまりは、



どんぶりに当たる漢字に丼を持ってきたわけですから、  
となると、まず、どんぶりという名の器があり、  
それに丼という字を当て、さらにはその器を使っ  
た料理が現在あまたある丼物の基となったという  
理屈になります。さて、このミステリーをどう読  
み解くか。

話は代わりますが、先日、ご近所の武本さんが  
タイ旅行に行かれて、おみやげをいただきました。  
それはタイシルクのハンカチでしたが、その包装  
紙に「ジム・トンブソン」の名が印刷されていま  
した。シルク王とも呼ばれるこの米国実業家が、  
キャメロン・ハイランドの密林で謎の失踪を遂げ  
たのは、一九六七年、未だにその行方はわかりま  
せん。同氏が元CIAの前身だったOSS職員だっ  
たこともあり、さまざまな憶測を呼んで、かの松  
本清張も「熱い絹」という長編ミステリーを書い  
ております。

さて、トンブソン氏のブライベートコレクション  
に、ペンチャロン焼きと呼ばれる膨大な陶器が  
あります。絵付けの上に五回も色を塗り足して、  
鮮やかな五色に輝く美しい陶器だそうです。な  
んと、その形というのが、まさに丼そのもののな  
です。そして、このペンチャロン焼きは、現在も  
タイ中部のトンブリいう町で作られているとい  
うではありませんか。

さて、謎は一気に解決に向かいそうです。この

トンブリという町の綴りはTHONBURI、も  
しくはDHONBURIですから、ああ、これこ  
そまさに、どんぶりではありませんか。

江戸時代半ば、タイはまだシャムと呼ばれてい  
ましたが、アユタヤ王朝が滅び、かわってトンブ  
リ王国に変わった頃です。その頃、五色のペンチャ  
ロン焼きは海を越えて、我が国にも伝わったので  
はないでしょうか。先に紹介した文献の中に「南  
蛮染付どんぶり」と書かれているのが、それを匂  
わせます。カンボジアからきた野菜がカボチャと  
呼ばれたように、トンブリからやってきたペンチャ  
ロン焼きは、どんぶりと呼ばれることになったの  
ではないでしょうか。

これまでは、なんでもごっちゃに放り込むタン  
袋からどんぶりになったという説が多かったので  
すが、どうもこっちが正しいように思えます。確か  
にどんぶりには、なんでもかでも一緒にする  
ドンブリ勘定とか、母親も娘にも手を出す親子ド  
ンブリなんて言い方もありますがね。



■浅黄斑（あさぎ まだら）推理作家。一九四六年神戸市生まれ。西神ニュータウンに在住。一九九二年小説推理新人賞、一九九五年日本文芸家クラブ大賞を受賞。日本文芸家協会、日本推理作家協会などに所属するとともに、日本文芸家クラブ関西支部長。「きょうも風さえ吹きすぎる」「ちやんがれ西鶴」「櫻島殺人海流」「トカラ北上殺人前線」など著書多数。

■連載エッセー／コーヒークップの耳 ⑩

# さりげなく

出石アカル

絵・菅原 洗人

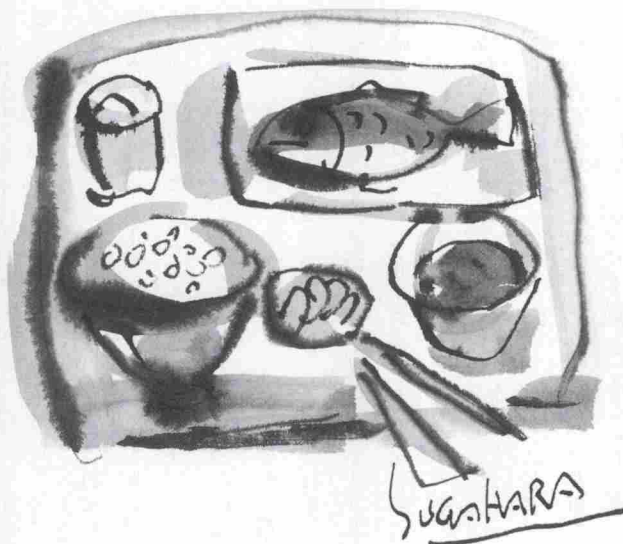
北側に小学校、南側に殺風景な酒蔵が連なるだけの、ほとんど人通りのない淋しい道にわたしの店はある。

15年前、ここで喫茶店を始めると言った時、知人が「どうかしたん違うか、こんなところでやって行ける訳ないやんか」と言ったものだ。

どうかしてたのである。常識的に考えて、この場所での商売が成り立つとは思えない。それが不思議と15年間である。お客さまがお客さまを次々と連れて来て下さって。だからほとんどが常連さん。それでも時に、迷い込むようにして一見さんが見えることがある。

申し訳程度の窓しかなくて、通りから店内の様子を伺うことは出来ない。

入り口がちょっと変わっている。表の扉を開けると、まず半坪ばかりのスペースがある。すぐに店内ではないのだ。お客さまはコーヒーだけを飲みに来られるのではない。時間と空間をも楽しみ



に見えるのである。そのためのワンクッション。日常のほこりのついた心を濾過するスペースだ。正面に絵が飾ってある。ここで左を向いて、もう一つ扉を開けてもらう。「ハイ、いらっしやいませ」

\* \*

おや、初来店の老夫婦。入り口でえらく手間取っておられる。段差もあって、確かにややこしい入り口ではあるが、もたつきようが気になる。分かった。ご主人の目が不自由だったのだ。白髪に薄いサンクラス。ちよつと頑固そうな人である。スラックス姿ではあるが上品そうな奥さまが、歩き始めた幼児をあつかうように、手を貸しておられる。

近い席に着いて定食を注文されたのだが、食事がこれまた大変。奥さまがそれは懇切に食べさせておられる。手を取って、みそ汁はここ、漬物はここ、ご飯はここよと、それは優しく教えながら手間をかけて。まるでその時間を楽しむかのよう

に。その様子を見て、てっきりわたしは、失明されてから間がないのだと思ってしまった。しかしうっかり尋ねては失礼かと思い、しばらく様子を見ていたのである。ほかの用事をしながらチラチラと。それにしてもいかにも手元がおぼつかない。ついにわたしは、「最近不自由になられたのですか？」と尋ねてしまった。続けて、ねぎらいの言葉をかけようかと思つて。

初めてのお客さまには、何か話すきっかけがほ

しいのである。仲良くなりたいのである。と言うより、その辺りの空気を和ませたいのである。初めての店は、お客さまにとっても気遣いなのだ。「ええ十五年ばかり前に。緑内障でね」と、つとめてさりげなく奥さま。

「途中失明は困ります」とこれもさりげなくご本人。

しまった、余計なことを聞いてしまった、恥をかかせてしまった、と思ったがもう遅い。多分ほかでも同じような思いを度々されただろうに。

出て行かれる時にまた、手間取っておられる。

奥さまが優しく細かく気遣っておられる。この優しさが、ご主人の独り立ちを妨げているのではないかとも思うのだが、それはそのご夫婦の生活である。15年間もそうして来られたのだ。第三者が口を挟むことではないだろう。ましてや喫茶店のマスターごときが。

「また来ます」と帰って行かれたが、多分もう来てはいただけない。

喫茶店のサービスは、肝に銘じて、さりげなくさりげなく。

お一人のときは

息づかいまでが気にかかつて

新聞をめくる音を

わざと大きくしたりする。

(一見さん・アカル)

いずし・あかる

43年兵庫県生まれ。「風媒花」「火曜日」同人。兵庫県

現代詩協会会員。詩集「コーヒークップの耳」(編集工房ノア刊)にて、

2002年度第31回ブルーメール賞文学部門受賞。

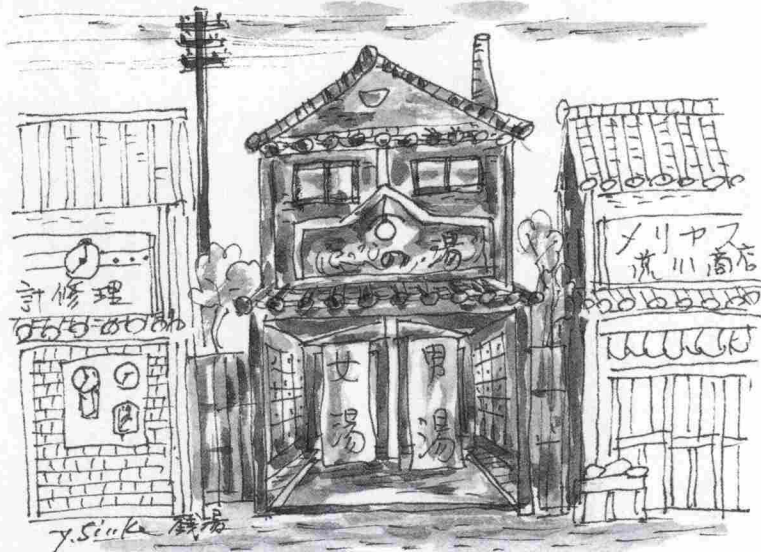


■新連載小説／④

# 神戸はしけの女

岡本真穂

絵・新家保夫



## もちつき

とみの水上生活は、決して最初思ったより楽しいものではなかった。船酔と中腰での生活は、働きの者の明るい生活のとみも時々無口にさせた。

とみは生れてこのかた、赤子を連れて街中の風呂屋に行ったことがなかった。大阪で働いた時も会社の中にある社長夫婦の後湯をもらうのが常であったし、水上生活者のほとんどは船の中で湯に入るといふことはなかった。荷受けに行く時は家族共々移動することが多く、荷受けのない時を見計らって女達は近くではないが歩いて行けるみなと湯へ行き、子供達と必要以上の時間を過した。女や子供にとってこの上ない幸せな時間でもあったようだ。

神戸に来て一週間程、とみは湯を沸かして茂や自分の身体をふいた。順一は茂を連れてみなと湯に行くことをすすめたが、とみは「解った」といったものの、何度も茂と風呂屋の前に行っては帰って来てしまふのだった。とみにとって大きな風呂屋に入ることすらためらうことであつたし、佐柳島の母の家でも

一度も茂をタライの中で洗ったことがなかった。怖さと不安は必要以上にとみを不安にさせた。

ある日とみは、今日はどうにか風呂に入ろうと決心して、みなと湯の前に立っていた。

「このおばちゃんや」

小さな男の子がとみに指さして母親にいった。

「健、このおばちゃんて何のこと」

男の子の母親としては少し年を取っているように見えたが、さっぱりとした声で男の子に聞いた。

「あめ落した時、このおばちゃんが白いあめくれた」

母親にまわりつくように母の腰をつかみながら恥ずかしそうにいった。

「まあ、そうね。ありがとうございます。おばちゃんやなんて、若い人にすみません。あんまり見ませんけど船の人ですか、若いのに赤ちゃん連れて大変ですね。」

人の良さそうなその母親は男の子を風呂に連れて来たのか、小さなバケツのような物にタオルをのぞかせてとみにいった。

とみは、風呂の入り方を知らないといえず小さくうなずいた。

「一緒に行きません、赤ちゃんを風呂に入れるのは慣れているから、手伝ってあげる。」

明るい声で人の良さそうな母親は、とみの様子を察したのか、力強くいった。

この人は九州出身の女性で金子といい、言葉尻のはっきりした細めの美人で、神戸での生活は長いのだといいながら、健にせかされるように風呂屋に入り、下駄の入れ方から、木製の扉の鍵のかけ方まで教えてくれた。

久しぶりにとみは身体が軽くなるのを感じた。健の母親を神様のように思え、その日から、とみにとって何事も相談できる母親のような、姉のような大事な人となった。

みなと湯ははしけから元町三丁目の方向に歩いて元町本通りに出るまでにあった。この温泉マークは水上生活者のかけがえのない場所となっていた。もちろん、地元の人を利用するのは当然のことであったが、その周辺は小さな店がいろいろあって、男達にとって帰りに飲むビールは

欠かせない物となっている。とみもまた綾に教えられるままに、店先をのぞいて帰ることもしばしばあった。

しばらくして元町六丁目近くにある元町温泉という所にも綾と一緒に行くことがあった。あのように不安に怯えていた風呂屋通いも今は嘘のようにとみの心をほぐしていた。

茂はすすくと育っていった。そして、とみにとって初めて迎える正月の準備の時が来た。

当時のはしけは活気があった。一番始めに順一から渡された注連飾りの置く場所にもこまつた。水上生活者の正月はどのように迎えるのか、とみにとってすべてが初めての経験であり順一のいわれるままに働いた。はしけの人達は正月に帰省する人は少ないらしく、盆の帰省の静まりかえった様子とは違い、何となく華やかな様子がただよっている。

とみの来たせいもあったのか、順一の船で正月の餅つきが荷積みの場合、それでも田舎の母から送られたあずきを炊き、餅米を大きなコンロの上で蒸し準備をすすめた。綾も手慣れた様子で暖を取るために用意されたコンロの上で干物などを焼いた。綾の家族、順一の遠縁になる浜ちゃん、日新運輸の仲間などがぎやかに一升瓶をさげて集まって来た。大晦日の海は漁場でもないのに大漁旗がぎやかに飾られ、とにかく街中では見られない風情があった。

あちらこちらの船から、正月用の魚を焼いたり、煮しめを作っているのかいつにない匂いが港にただよっている。

遅しい男達によってみるみるまに餅つきは終わった。大根おろしで食べる人、とみの煮たあずきをからめて食べる人、船の上の寒さなどこの場所には心配ないようである。とみと綾は船に供える鏡餅を何組か作ったあと、酒盛りの準備に入った。カマボコ、黄色いタクアン、玉子焼、今様のオードブルのような高級感はないが、するめをほおぼる男達の顔には屈託がなかった。みるみる間に一升瓶が空になった。次から次へ男達は一年の労を犒うように飲んで唄った。順一も今はやりの「有楽町で逢いましょう」を唄った。黄色いサランボアンアンと合いの手を入れてふざけるような唄声が夜遅くまで続いた。どの船も灯りは朝までついていた。さながら今のルミナリエである。波の静かな音と木造船のゆれる灯りは今の神戸で見ることはない。初詣を約束して三々五々集った



人達はにぎやかに持船に帰って行った。

順一のいわれるままに、とみは十二時の時を待った。十二時になると大型船が一斉に汽笛を鳴らす。ボーボーその音はうれしいのか、悲しいのか、解らないようなうなりのような大きな音でとみの耳を覆った。

「おめでとう」

順一は佐柳訛りでいった。

「おめでとうございます」

とみも順一と結婚して初めて祝う新年の挨拶を少し茶目っ気にいった。

順一は「さあ行くよ」と、またとみに次の行動を急がせた。

「何ね」

とみは、客達が帰った後片付けもしていないのにどこへ行くのかと少々疲れた顔でいった。

「正月の新しい着る物を買いに元町の高架下まで行くんだ」

順一は当然のようにいった。

一般の家庭では除夜の鐘のなる前にすべてのことが終わっていなければならない風習があった。古い物はすべて洗い、食べる物はすべて用意され、元旦は何一つすることなく祝いのみのおごそかな一日を用意するのだった。着る物はもちろん、除夜の鐘を聞いてから買いに行くなどということは論外であった。しかし生活の知恵は水上生活者の中に誰いうとなく伝わっていた。

とみはいわれるままに茂を背に負い順一と歩いて高架下の人となった。びっくりするような人の流れである。初詣をする人達なのか三宮から湊川神社までの間は若い人達がにぎやかに通り過ぎて行く。とみは昼のような活気のある高架下の店に目を見張った。順一は得意そうに店々を廻った。一番贅沢のできるときでもあった。すべての商品は半額か売り切り値段になっている。二人は子供から二人の分まで安く買うことが出来たのに充分満足している。二人の両手には幸せな品物でいっぱいである。

「うどん食べるか」

順一は高架下にある小さなうどん屋に入った。順一はうどんから始まってもう一つ何か食べる程元氣であった。



とみは赤飯と書かれた紙に佐柳の母を思い、いわれるまでもなく赤い赤飯を注文し、おいしそうに食べた。安物の色のうすいお茶であったが餅米のねばりと少しふられた塩の味はとみを幸せにした。両手にいっぱい持った品物は家いや船に帰るまでに逢った見知らぬ人達に陽気に挨拶する声にも出ていた。幸せなとみであった。

船に帰ると三時間程前まで賑っていた船上の残がいを見ながら、茂を船底の部屋に寝かしつけた。順一もうどん屋のビールがまわって来たのか、とみの後から降りて来た。

「ええか」

茂の横に横たわりとみの手を引いた。若い二人の新年の契りは静かにきしむ船のゆれと共にひとときの快楽の時を作った。

とみは乱れた髪の毛を手で整えると船上の荷積する場所へと上っていった。順一は、少しの酒の酔いと女を抱いた満足感からかひとときの眠りについた。

とみは飾り餅を白い紙にのせると、船先の安定した場所に供え冷たい空気を吸った。とみの身体も先程の出来事でまだ燃えているような暖かさが残り、仕事も男に抱かれた満足感からか陽気にはかどった。船々の灯りをうすめるように夜が明けてくるのが見えた。

とみは母が作っていた雑煮をとみ流に作り順一の目覚めを待った。茂は朝の出来事を知ることもなく、元気な泣き声で母を呼んだ。

「お乳が欲しいの」

とみは優しい母の顔をして茂に話かけた。

順一は夢の中なのかまたとみの手を強く引きよせようとした。

「茂が見よるよ」

とみは順一の顔をまともに見られない恥ずかしさを茂のせいにしながらまだ覚めやらない身体のほてりを身体全体に感じていた。茂



はむせるような母の乳を元氣よく飲んだ。順一は幸せな父親の顔をして、浅い眠りのまま横にいた。

とみは茂に早朝に買った正月用の着物を着せ、前掛けのようなエプロンを着せ、とみは買ったばかりのエンジ色のセーターに黒いスカート、イミテーションのパールをついた花のコサージュを胸につけてうっすらと口紅もつけた。しばらくして、健ちゃんの声が飛び込んで来た。

「おばちゃん、湊川へ行こう」

健の声もいっなくなはしゃいでいるような元氣な声で、続いて綾達夫婦が陸で待っていることを知らせた。順一も上の様子を察したのか、眠そうに一番上等の背広にジャンパーを着て出て来た。とみも大きな格子のコートを着て祝雑煮もほとんど口をつけずに陸へと上がって行った。そこには、餅つきをした仲間も寒そうに立っていた。綾だけが着物を着て白い羽根の髪飾りをつけていた。神社までにぎやかに歩いて行くのだ。元町から神戸駅の方まで、十一時の神戸は晴着姿の人達で賑わい、元町通りのウインドウも美しく掃除され、神戸ならではのハイセンスはウインドウディスプレイがきわだって華やかに見えた。

楠公さんと呼ばれる湊川神社も人であふれ返っている。日本髪を結った人も目立ち、ビロードの衿巻きが衿足の寒さを感じさせないように、いきに着物の衿にそって巻かれている。中にはきつねやうさぎの衿巻が顔を覆っている女性もいた。とみ達は方言で大きな声で話しながら本殿にうやうやしくお参りをし、おみくじに一喜一憂し、子供達に好きな物を買えば、船の安全を祈願した札を買って湊川神社を後にした。とみにとって忙しく、うれしい正月であった。

(続く)



岡本真穂（おかもと まほ）

詩人。関西文学同人、関西詩人協会会員、神戸異分野交流会会長。著書「詩画集 花野」「御影」。

# プレゼントメイト



★あの感動が再び！

『ピノッキオ』シリーズ

DVDになって遂に登場

イタリア本国では『ピノッ

キオ』公開に合わせてDV

D化され、爆発的なブーム

を巻き起こした元祖『ピノッ

キオの冒険』。当初イタリ

アの国営テレビで放送され、

深夜枠での放送ながら、こ

の番組だけは親も子が遅く

まで起きて観る事を許した

とか。判り易い映像と、絵

本さながらに映し出される

イタリアの自然や町並みの

色彩美は、大人でさえも、

忘れかけた懐かしい頃に戻

してくれるだろう。NHK

でも放送され、日本でも数



今なお愛され続ける

古典童話の傑作！

## ■プレゼントメイトへのご応募は...

ハガキ・FAXに、希望する  
プレゼント名・郵便番号・住  
所・氏名・年齢・職業・電話  
番号・今月号の感想を明記の  
上、下記宛先にお送り下さい。  
なお、商品の発送をもって発  
表にかえさせていただきます。  
応募宛先〒650-0001 神戸市  
中央区下山手通2-13-3建創ビ  
ル401(有)月刊神戸っ子プ  
レゼント係

TEL. 078-331-2246

FAX. 078-331-2795



「母牛」1995年  
天竜市立秋野不矩美術館蔵

6月8日(日)まで開催さ  
れる。インドを中心とした  
初期から最晩年にわたる代  
表作80点に加え、天竜市立  
秋野不矩美術館が所蔵する  
門外不出の7メートルに及  
ぶ大作「オリッサの寺院」  
が特別出品されるほか、今  
まであまり公開されたこと  
のない下絵、素描や「いっ  
すんぼうし」などの絵本原  
画など約130点も併せて  
展示。あくことなく新しい  
創造世界を求めた秋野芸術  
の全容を紹介する。この展  
覧会の招待券を10組20名に

http://www.alcine-  
terran.com

## ★「秋野不矩展——創造の軌跡——」開催中

インドの大地と風物を40  
年近く描き続け、2001  
年10月、93才で逝去した現  
代日本画の第一人者、秋野  
不矩の没後初の大回顧展が、  
兵庫県立美術館において、

プレゼント。生命力溢れる  
作品と、かつてない規模の  
展覧会は見のがせない。

■兵庫県立美術館

078・262・0901

## ★東西女性・美の競演

芦屋市立美術館にて



19世紀の作品は  
まさしく骨董品

古美術のコレクターとし  
て有名な辻本勇氏のコレク  
ションの中から、女性美の  
あり方について、西洋と日  
本における印刷物(木版彩  
色・石版彩色など)を中心  
に紹介する「浮世絵とバリ・  
モード誌にみる装い」展の  
招待券をベア1組にプレゼ  
ント。デジタル画像が常識  
となった今日、様々な印刷  
技法が展開された19世紀の  
作品はまさしく骨董品。手  
彩色写真など細やかな職人  
の手業を再認識してみても  
いいが。6月8日(日)まで。  
■芦屋市立美術館  
079・97・3305432  
http://www.ashiya-  
web.or.jp/museum/



# 愛読者 サロン



★毎月楽しみに読んでいます。神戸の歴史やイベントの紹介など勉強になる事や情報などがたくさん書いてあるのでお気に入りです。

(芦屋市・松村洋子)

★「神戸っ子」は会社で購入しているの、毎月楽しみに読ませて頂いております。今月号はいつもより内容が濃いうちに思えて読み終えるのにかなり時間がかかりました。昔の神戸の事を知らない私でも歴史を感じれる、神戸の事が好きな「神戸っ子」だからこそだと思えます。

(西区・中澤久美子)

★タレントの佐川満男さんや、漫才師のちゃんぽらん大西さんの、個性豊かな絵画を見て、私の学生時代ドロドロになりながら、油絵や彫刻に没頭していた頃を思い出しました。今は専業主婦ですが、フツフツと制作したいなという気持ちになってしまいました。

(明石市・安岡陽子)

★佐川満男氏の『前略旅行

にて』をテレビで毎回来しく見ていたので、中西氏、大西氏ら三人のお話を楽しく読ませて頂きました。

佐川満男氏の絵はほのぼのとして心が暖かくなりますね。(西区・大橋ます子)

★佐川満男さんが近くの塩屋の出身とは思いませんでした。これからもがんばってほしいと思います。

(長田区・影山たか子)

★ちゃんぽらんの大西浩仁さんの絵、すごく気に入ってしまいました。特に太陽の絵なんて部屋に飾れば見る度元気になるそうです。

(須磨区・谷本周子)

★とてもたのしく拝読しています。神戸の有名店の事がよくわかってたのしいです。参考にしてショッピングしています。

(三田市・西村千枝子)

★3月3日神戸っ子祭パーティでは、私久しぶりに外に出てモヤモヤ病を忘れ気分スカッとしました。行く道中、ラッキーなことに港の豪華客船を車から見る事が出来ました。アア神戸やなと、じんじんうれしく、今も風景思い出します。パーティでは島京子先生に、持参の本にサインしていただ

き、私なりに収穫がありました。ええ会やったね。感謝。

(東灘区・那須くすこ)

★最近日本酒に興味があるので、酒特集の記事を楽しく読ませて頂きました。神戸に住みながら灘のお酒の事はあまり知らず大変勉強になりました。

(兵庫区・宮崎友美子)

★テレビで見て大好きな神戸の月刊誌がある事がわかり本屋へ出向きましたがなかなか見つからず娘にたのんで見つけてもらいました。

(三木市・稲岡礼介)

これからも楽しみにしておりますのでよろしくお願いいたします。私の青春は神戸でした、おこづかいをためては神戸に行く事が楽しかったです。

(八尾市・橋本キミ子)

★以前、芦屋にある田中千代服飾専門学校へ通っておりました。先生の随想をとてなつかしく読ませて頂き、今でもお元気にしておられるのではないかと、つい思ってしまうくらいです。又、ファッションフェアの様子を見て、すばらしい感性を持っていらっしゃる事に将来の楽しみを覚ええました。

(篠山市・正元婦美子)

(東灘区・西盛天香)  
★「ひと未来館」オープン  
のレポートありがとうございます。是非子供をつれて行きたいと思います。「人と防災未来センター」ができた時は、何かいやな思い出を思い出しそうでした。ですが、「ひと未来館」ができたので、なんだか行けそうな気がします。これから先取りした情報をよろしく願っています。

(垂水区・大塚理紗)  
★神戸っ子賞受賞の事を全て読み、自分も自分の道をきわめ、そして地域に貢献しなくてはと強く思い、そんないい機会を与えてくれた月刊神戸っ子に感謝します。



★42周年を迎えた月刊神戸つ子にいろいろお世話いただいた方々

田辺聖子	澤田勝寛	青木重雄	上島達司	川瀬喜代子	園田正和	羽多悦子
陳舜臣	白石弘子	荒川克郎	鶴殿麻里絵	嘉本禎夫	玉岡かおる	橋本一豊
佐藤廉	島京子	有澤武	内田健司	上林英一	田川政子	畑崎廣敏
森實勉一	白坂能朗	安藤忠雄	内田邦子	木口衛	田崎俊作	坂東節子
浅黄斑	新谷瑠紀	浅木幸雄	馬野英子	木下章夫	龍口篤夫	坂野惇子
新井満	武田則明	浅木隆子	榎本重夫	木下健	筒井康隆	東村衛
石阪春生	田中國夫	天野桂子	大庭浩	小室豊允	釣秋桜	広野幸助
今井啓介	中村友一	石井亮一	岡田美代	上月倫子	寺本渥	福富震一
鶴殿ようこ	永田萌	伊勢田史郎	奥村孝	雀部昌吾	中内功	福原初子
榎本靖子	中西瑛	今津奈加子	小田俱義	笹山幸俊	永田典子	藤間利佳子
王柏林	林五和夫	市野弘之	貝原俊民	佐藤純子	長澤昭	藤本統紀子
大崎泰三	藤本ハルミ	井植貞雄	貝原六一	佐藤悦枝	灘本唯人	藤原明子
岡本真穂	望月美佐	伊藤研一	柏井健一	鈴木幸子	長浜リツ子	星住輝子
緒方しげを	松本幸三	伊庭文子	加藤義雄	島田誠	成瀬香梅	堀郁子
大木美通	森本泰好	石野順子	角本稔	下村俊子	難波還	堀本恵子
加藤隆久	安水稔和	市村礼子	嘉納毅六	霜寄敏文	西村功	牧冬彦
北大路楽園人	吉田泰己	岩間瀧夫	嘉納邦子	末次彌子	新野次郎	松井高男
小島知光	米田定蔵	稲田勝己	加納勝	佐野漣	野澤太郎	宮崎幸三
榊晴夫	渡辺二笙	榎本茂男	川上勉	妹尾美智子	光葉貞雄	南和恵
佐野漣						神戸青年会議所
						神戸商工会議所
						神戸百店会
						(敬称略)

〈女のいる風景〉



素描  
〈羽根〉



〈表紙のことば〉

鳥の羽根はいつ描いても美しい私のすてきなモチーフの一つである。この羽根は鳩の羽根をうつした。タブローは10号の横の作品油彩で2000年に描いたもので、顔と手の部分をこの表紙に使用した。羽根と女の形がうまくとけ合ってくれればと思った。

2003年5月 石阪 春生

★弓弦羽神社の見事なしだれ桜のもと 御影花びらま

★「こちら女性専用車。男  
(川上豪)

★「こちら女性専用車。男性は移動して下さい」と駅員さんが作業服姿の小柄な人に声をかけた。「女性です」きれいなソプラノが車内にひびいた。(山本牧)

**お詫びと訂正**  
本誌4月号で下記の誤りがありました。ここに訂正するとともに、関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びいたします。  
P48  
新神戸オリエンタルホテル  
(誤) シュール・デ・ゼール  
(正) シュール・レ・ゼール

取締役主筆／小泉美喜子  
編集・営業／高橋直人  
大原宇勉 川上豪  
鳥羽朗子 山本牧  
経 理／小林昌夫

.....

神戸っ子のメールアドレス  
がわかりました。皆様のご  
意見・ご感想をお寄せ下  
さい。おはがき、FAX、メ  
ールをお待ちしております。

月刊神戸っ子 No.503  
★発行/2003年 5月 1日  
★発行所/月刊神戸っ子編集室  
〒650-0011  
神戸市中央区下山手通2-13-3  
建創ビル 4 階  
TEL.078(331)2246(代)  
FAX.078(331)2795  
Kobeco@crux.ocn.ne.jp  
★定価: 本体477円+税 送料100円

**東海・北陸地方**

- 神戸市東灘区  
本庄ブックストア岡本店
- 山形県鶴岡市  
シンク堂書店佳吉店
- 甲南支店
- 神戶市灘区  
道宝文庫
- 阪急B F六甲店
- 神戸市中央区  
丸善神戸元町店
- 高橋書店 新書部神戸店
- 海文堂書店
- キクヤ
- ブックフォーラムメトロ神戸店
- ジュンク堂書店三宮駅前店
- ジュンクス堂書店三宮店
- アリスハポシブイ店
- フタバスジョイズ店
- 近所文庫
- ブックテンバート 神戸
- 神戸市花塚区 街角湊川店
- ブルックス花巻天神ビル店
- 中山
- 神戸市長田区  
喜久屋書店ジョイプラザ店
- 喜久屋書店ジョイプラザ店
- フェニックス 舊名代店
- さんぽう堂新長田ビレ店
- ざいりん館
- 神戸市須磨区  
流泉書房パティオ店
- キクヤブックスマイトわ
- 博文化ブックスマイトわ
- 新聞堂里水店
- 明舞書店
- 喜久屋書店名品店
- 文通堂書店 雑子店
- 天進堂書店
- 神戸市北区  
アマゾン総合給付店
- スター商業施設店
- 宮崎書店神戸北町店
- ジュンク堂書店神戸北町店
- 紳士商会
- 神戸市西区  
喜久屋書店学園都市店
- 喜久屋書店天神駅前店
- ブックフォーラムムセリオ店
- 伊川谷タマラ
- 青森県  
天久書店
- 岩手県  
ジュンク堂書店
- 青森県  
芳屋宝盛稲穂ビル店
- 青森県  
芳屋宝盛稲穂ビル店
- 三ヶ倉
- にわかふん堂なにわ支店
- 西宮市

**中部地方**

- 富山県黒野町  
室蘭書店西宮店
- 金沢市  
キンギョ堂書店遠浅川店
- 福井県小浜市  
オーラムジュンク豊岡
- あかぬ書房ウツェイタウン店
- 磯山市  
小山書店
- 短路市  
ブックロード
- 森井書店
- 宮上書店
- ブックサンヨー
- ジュンク堂姫路駅店
- 明治市  
栄松堂本店
- 笠原書店本店
- BOOKS松石町ビル店
- ジャズクラシック商店石店
- 三門市  
ブックウィング三木
- 加古川市  
喜久屋書店加古川店
- ブルックスうかいや加古川いしもり店
- 小野市  
ブルクスウィング小野
- 西脇市  
ブレス
- 津島郡一宮町  
図書地区市民会館
- 津島郡津名町  
ブルックスみまこ
- 東京都杉山区  
三信書店
- ジュンク堂プレイスセンター
- 東京都港区  
キネコシアナール番街店
- 東京都渋谷区  
飯見屋アートコートホグ
- 東京都新宿区  
ブックライナー
- 東京都豊島区  
なかいく
- 京都市  
ユークリック堂池袋本店
- エウォークタワー  
大阪市中央区
- 大坂市北区  
ジュンク堂書店大阪本店
- 大崎市阿倍野区  
植根書店
- 柏原市  
ブックフォーラム柏原店
- 八幡市  
油竹書店
- B O C S フレンド
- 高松市  
高級カルチャーベース
- 福岡市  
ジュンク堂書店福岡店
- 鹿児島市  
ジュンク堂書店鹿児島店

**九州地方**

- 鹿兒島市  
ジュンク堂書店鹿児島店

# 神戸っ子倶楽部法人会員ニュース

## サントリーレディス オープンゴルフトーナメント 2003

(株)サントリーがサポーターする「We Love KOBE サントリーレディスオープンゴルフトーナメント2003」が、ジャパンメモリアルゴルフクラブにて開催される。

「美・感・遊・創」を大会コンセプトに、タレントや著名人が参加する華やかなアマプロチャリティーナメントが6月11日(水)に予選・決勝ラウンドが12日(木)から15日(日)まで実施される。今年も「We Love KOBE」を大会テーマに掲げ、様々なチャリティ活動や、「神戸の味覚」が楽しめる「ランチブラザ」などを通じて、地域への貢献活動を行っていく。



2002年度優勝者坂東貴代選手

■お問合せ サントリーレディスオープン事務局  
☎06-6346-1087

チケットプレゼントペア5組10名。様応募方法はP112参照「月刊神戸っ子プレゼント係」まで  
☎078-331-2795

「TASAKI OSAKA CUPメルボルン／大阪ダブルハンドヨットレース2003」  
ついに開幕!

田崎真珠(株)がスポンサーとして参画している「TASAKI OSAKA CUPメルボルン／大阪ダブルハンドヨットレース2003」が3月15日にオーストラリア・メルボルンで開幕した。このレースは大阪市が企画し、姉妹都市、姉妹港であるメルボルン市、港湾公社の協力の下、メル



OSAKA CUPイメージ写真

ボルン／大阪ダブルハンドヨットレース推進協議会及びJSAF外洋内海の主催で開催。1987年に第1回目が開催されたのをきっかけに、それ以後4年ごとに開催されている。今回で5回目となる。

■レースに関する詳細は  
<http://www.osakacup.com>

## キリンアートアワード 2003 作品募集!

キリンビール(株)では、芸術文化支援活動の一環として新鋭アーティストの育成と支援を目的とした「キリンアートアワード2003」の作品募集を6月30日まで行う。最優秀作品には副賞100万円に新作発表の場と作品制作に対する援助が行われる。「キリンアート」は今年で通算14回目を迎え、新鋭アーティストの登竜門として広く認知されるようになり、世界で活躍するアーティストをも輩出している。

■応募要項 ①応募作品は



キリンアワード2002受賞作品 東京会場

応募者自身の作品で、2001年2月以降に制作されたもの。1応募につき1作品②作品は未使用のVHSビデオテープの始めから15分以内に収録③出品料、応募したビデオテープ、写真、資料などの返却はしない。

■応募期間 2003年2月1日(土)～6月30日(月) 必着

■出品料 1作品3000円

■応募方法 キリンアート事務局の銀行口座に出品料を振込の上、必要事項を記入した応募用紙・作品を収録したビデオテープなど・出品料の振込控(コピー可)を事務局まで送付。

■お問合わせ

キリンアートアワード事務局  
☎03-5454-0728  
<http://www.kirin.co.jp/art-award>



# ファッション都市神戸のシンボルとなるスタジオを

総勢250人ものモデル、タレントが在籍する神戸で唯一のモデルプロダクションである株式会社ノイエ。神戸のファッション情報発信力を高めよう！と神戸の玄関口でもある神戸にスタジオをオープンする。

飯田 新吾(株式会社ノイエ 代表取締役社長)



飯田新吾代表取締役社長

ファッション誌などでは必ずといっていいほど神戸が取り上げられていますが、神戸にはモデルを使った撮影ができる商業スタジオが不足している、というのが事実なのです。

神戸のロケーションで撮影をおこなっても、わざわざ大阪や東京に戻らなければならず、快適な取材環境があるとはいえません。以前、神戸にスタジオができれば使用するかどうか、というアンケートをとりました。すると、各ファッション誌の編集長、ライターは「必ず使います!」と断言して下さいました。

また、本格的なスタジオ

を設立することで、才能あるカメラマンやメーカー、スタイリストの方たちも活躍できる場となるはずです。人材流出を防ぐことにもなると思うのです。

場所は神戸の玄関口である神戸の新神戸オリエンタルアーベニューの地下1階になります。日本初のカラズ張りのスタジオで、ショットピングされている方にも、観光でいられている方にも、撮影している風景を外から見ていただくことができます。

さすがファッション都市神戸と言っていただけのよう素晴らしいスタジオをつくりたいと思います。



スタジオ・オフィス・レッスン場完備

## スタジオ設立に

「ご賛同ください!」

1 協力をお願いしたい内容

(※以下の中から可能なもので結構です。)

① 神戸でスタジオ・ロケーションコーディネート事業を行うことについての賛同。(協力企業として貴社名をパンフレット等に掲載することの許可)

② スタジオ・ロケーションコーディネート(ロケバス)の利用、もしくは利用者紹介の協力  
③ スタジオ機材・建設資金として、協賛金の協力(1口10万円からお願い申し上げます)

## 2 振込先

三井住友銀行 神戸営業部  
普通預金 8223598  
株式会社ノイエ

## 3 お問合せ先

株式会社ノイエ  
代表取締役 飯田新吾  
〒651-0004 神戸市中央区琴ノ緒町5-5-2  
上東ビル4F

☎(078)265-1750

☎(078)265-1760

<http://www.noie-kobe.co.jp>

スタジオ完成イメージ



# 神戸っ子倶楽部法人会員一覧（平成15年5月現在）

企業名	住所	電話番号	ホームページ
株式会社 アーバン・ヴィレッジ	神戸市中央区神若通4-2-19	078-230-2303	
アサヒビール 株式会社 神戸支社	神戸市中央区栄町通1-1-18	078-333-1301	<a href="http://www.asahibeer.co.jp">http://www.asahibeer.co.jp</a>
財団法人 井植記念会	神戸市垂水区青山台1-21-1	078-751-5216	
学校法人 育成学園 神戸国際調理製菓専門学校	神戸市中央区北長狭通4-5-7	078-332-6377	<a href="http://www.ikusei.ac.jp/index.html">http://www.ikusei.ac.jp/index.html</a>
学校法人 大手前学園	西宮市御茶家所町6-42	0798-34-6331	<a href="http://www.otemae.ac.jp/">http://www.otemae.ac.jp/</a>
大森工業 株式会社	神戸市中央区多聞通2-1-3	078-341-7435	
株式会社 オールスタイル総本社	神戸市中央区港島中町6-5-1	078-302-3311	
株式会社 海岸ビルディング	神戸市中央区海岸通3 海岸ビル1-5	078-331-2130	
鐘紡記念病院	神戸市兵庫区御崎町1-9-1	078-681-6111	<a href="http://www.kanebo.co.jp/hospital/">http://www.kanebo.co.jp/hospital/</a>
カワノ 株式会社	神戸市長田区大道通5-5	078-631-1161	<a href="http://www.barclay.jp/index.html">http://www.barclay.jp/index.html</a>
関西電力 株式会社 神戸支社	神戸市中央区加納町6-2-1	078-391-7211	<a href="http://www.kepco.co.jp/">http://www.kepco.co.jp/</a>
北野田開発 株式会社	神戸市垂水区下畑字西砂山301-301	078-753-8888	
キリンビール 株式会社 神戸支社	神戸市中央区御幸通4-1-1	078-251-8151	<a href="http://www.kirin.co.jp/">http://www.kirin.co.jp/</a>
有限会社 建築企画設計事務所 フリーダム	神戸市中央区栄町通6-1-21	078-360-8185	<a href="http://www.freedom-shop.com/">http://www.freedom-shop.com/</a>
神戸北野ユースホテル	神戸市中央区北野町3-12	078-221-4712	<a href="http://www.kobe-kitano.net/youth/">http://www.kobe-kitano.net/youth/</a>
神戸商工会議所	神戸市中央区港島中町6-1	078-303-5800	<a href="http://www.kcci.hyogo-iic.ne.jp/">http://www.kcci.hyogo-iic.ne.jp/</a>
株式会社 神戸新聞社	神戸市中央区東川崎町1-5-7	078-362-7100	<a href="http://www.kobe-np.co.jp/index.html">http://www.kobe-np.co.jp/index.html</a>
神戸ダイサービス 株式会社	神戸市中央区東川崎町1-8-5	078-360-5000	<a href="http://www.3605000.co.jp/topindex.htm">http://www.3605000.co.jp/topindex.htm</a>
神戸地下街 株式会社	神戸市中央区三宮町1-10-1 神戸交通センタービル8F	078-391-4025	<a href="http://www.kobe-chikagai.co.jp/welcome-j.html">http://www.kobe-chikagai.co.jp/welcome-j.html</a>
株式会社 神戸風月堂	神戸市中央区元町通3-3-10	078-331-0401	<a href="http://www.kobe-fugetsudo.co.jp/">http://www.kobe-fugetsudo.co.jp/</a>
株式会社 神戸ポートピアホテル	神戸市中央区港島中町6-10-1	078-302-1111	<a href="http://www.portopia.co.jp/">http://www.portopia.co.jp/</a>
株式会社 神戸マツダ	神戸市兵庫区東柳原町3-10	078-671-5205	<a href="http://www.mazda-hgr.co.jp">http://www.mazda-hgr.co.jp</a>
株式会社 神戸サンセンタープラザ	神戸市中央区三宮町2-11-1-604 サンセンタープラザ西館	078-331-5311	
サントリー 株式会社 神戸支店	神戸市中央区京町80 クリエイト神戸10F	078-322-2611	<a href="http://www.suntory.co.jp/">http://www.suntory.co.jp/</a>
株式会社 新生公司	神戸市中央区元町通1-1	078-391-5859	
信和住宅販売 株式会社	神戸市中央区播磨町49 神戸旧居留地平和ビル3F	078-321-7885	<a href="http://www.mansionclub.co.jp/">http://www.mansionclub.co.jp/</a>
ダイシンテクノス 株式会社	神戸市兵庫区本町1-4-21	078-681-2231	<a href="http://www.daishin-prn.co.jp/">http://www.daishin-prn.co.jp/</a>
タカハシパール 株式会社	神戸市中央区山本通1-6-20	078-221-0075	<a href="http://www.takahashi-pearl.co.jp/">http://www.takahashi-pearl.co.jp/</a>
高松建設 株式会社 神戸営業支店	神戸市中央区御幸通6-1-20 三宮山田東急ビル	078-242-1717	<a href="http://www.takamatsu-const.co.jp/">http://www.takamatsu-const.co.jp/</a>
田崎真珠 株式会社	神戸市中央区港島中町6-3-2	078-302-3321	<a href="http://www.tasaki.co.jp/">http://www.tasaki.co.jp/</a>

企業名	住所	電話番号	ホームページ
株式会社 築港	神戸市中央区海岸通3 海岸ビル	078-391-6671	<a href="http://www.chikko.co.jp/">http://www.chikko.co.jp/</a>
辻尾産業 株式会社	神戸市北区南五葉1-2-4	078-592-1002	
東亜外業 株式会社	神戸市兵庫区西出町2-4-12	078-681-1111	
トマトスリスニングセンター神戸 有限会社 ティ・エル・アイ	神戸市中央区中山手通4-1-14 山の手シャルマンビル4F	078-392-3314	<a href="http://www.tli-tomatiskobe.com/">http://www.tli-tomatiskobe.com/</a>
株式会社 ドンク	神戸市東灘区田中町3-19-14	078-441-2041	<a href="http://www.donq.co.jp/">http://www.donq.co.jp/</a>
ネットヨタ兵庫 株式会社	神戸市中央区栄町通7-1-3	078-371-7270	<a href="http://www.netz-fonte.net/">http://www.netz-fonte.net/</a>
株式会社 ノイエ	神戸市中央区琴ノ緒町5-5-2 上東ビル4F	078-265-1750	<a href="http://www.neue-kobe.co.jp/">http://www.neue-kobe.co.jp/</a>
株式会社 日の出タクシー	神戸市兵庫区三川口町1-3-4	078-671-7285	<a href="http://www2.117.ne.jp/~hinodet/indexnew.htm">http://www2.117.ne.jp/~hinodet/indexnew.htm</a>
兵庫トヨタ自動車 株式会社	神戸市中央区磯辺通4-2-12	078-252-2815	<a href="http://www.hyogotoyota.co.jp/">http://www.hyogotoyota.co.jp/</a>
株式会社 ファミリア	神戸市中央区相生町1-1-21	078-360-1234	<a href="http://www.familiar.co.jp/">http://www.familiar.co.jp/</a>
株式会社 フェリシモ	神戸市中央区浪花町59	078-325-5555	<a href="http://www.felissimo.co.jp/">http://www.felissimo.co.jp/</a>
株式会社 フットテクノ	神戸市中央区元町通5-2-8	078-351-1116	<a href="http://www.kaorino-chikara.com/foottechno/">http://www.kaorino-chikara.com/foottechno/</a>
株式会社 ポート・リハビリサービス	神戸市中央区中山手通4-1-11 広川ビル3F	078-392-1101	<a href="http://www.port-rs.co.jp/">http://www.port-rs.co.jp/</a>
株式会社 ホテルオークラ神戸	神戸市中央区波止場2-1	078-333-0111	<a href="http://www.kobe.hotelokura.co.jp/index2.htm?">http://www.kobe.hotelokura.co.jp/index2.htm?</a>
宮内法律事務所	神戸市中央区三宮町2-6-4 宮内三宮ビル	078-332-5015	
元町商店街連合会	神戸市中央区元町通3丁目13-1	078-391-0831	<a href="http://www.kobe-motomachi.or.jp/">http://www.kobe-motomachi.or.jp/</a>
モンレーブみさ	神戸市中央区中山手通4-1-14	078-332-0885	
UCC上島珈琲 株式会社	神戸市中央区港島中町7-7-7	078-304-8888	<a href="http://www.ucc.co.jp/">http://www.ucc.co.jp/</a>
横山倉庫 株式会社	神戸市中央区磯上通8-1-29	078-231-5311	
寄神建設 株式会社	神戸市兵庫区七宮町2-1-1	078-681-3120	<a href="http://www.yorigami.co.jp/">http://www.yorigami.co.jp/</a>
有限会社 老祥記	神戸市中央区元町通2-1-14	078-331-7714	<a href="http://www.roushouki.com/">http://www.roushouki.com/</a>
株式会社 ロック・フィールド	神戸市東灘区魚崎浜町27-40	078-435-2800	<a href="http://www.rockfield.co.jp/">http://www.rockfield.co.jp/</a>
若栄クリニック	神戸市中央区花隈町3-3 メトロハイツ花くまビル2F	078-360-1152	<a href="http://www.wakae.msn.gr.jp/">http://www.wakae.msn.gr.jp/</a>
和田興産 株式会社	神戸市中央区栄町通4-2-13	078-361-1100	<a href="http://www.wadakohsan.co.jp/">http://www.wadakohsan.co.jp/</a>

## 「神戸っ子倶楽部」ではただいま法人・個人会員を募集しています

■会費…………… 法人会費 月会費 一口 5,000円  
年会費として一括お支払いの場合には、年会費  
60,000円のところ一口50,000円とさせていただきます。

個人会費 年会費 10,000円

■特典…………… ・会費の一部を文化催事などへの招待、もしくは  
優待による参加費に充当します。  
・会員のみなさんの情報を「Members' News」  
のコーナーで紹介いたします。

・毎月ご希望の冊数の「月刊神戸っ子」を月5冊  
を限度にお届けします。(法人会員のみ／個人会  
員は月1冊)

■お申し込み・お問い合わせ先……………

(有)月刊神戸っ子「神戸っ子倶楽部法人会員」係

☎078-331-2246